

還付金詐欺

(詐欺犯人) もしも、〇〇区役所の△△と申します。あなたは、医療費を払いすぎていますので、2万9,860円の還付金を受け取ることができます。書類を送っていますが、確認していただきましたか?

役所を名乗り、丁寧な言葉遣いで、電話をかけてきて、「書類を送っている」と言って信じ込ませます。

(被害者) お金が戻って来るんですか? 書類なんて見ていませんけど?

(詐欺犯人) そうですか。本当は、期限が過ぎていたのですが、本日にATMで手続きをすれば、還付金を受け取ることができます。キャッシュカードを持って、急いで近くの□□のATMに行ってください。ATMについたら、手続き方法を説明しますので、私に連絡してください。電話番号は、XX-XXXX-XXXXです。

誰にも相談させないように、「時間がない」等と焦らせて、ATMに誘導します。

(被害者) もしも、今□□のATMの前に着きました。

(詐欺犯人) それでは、私の言うとおりに操作してください。まず、キャッシュカードを入れてください。次に、こちらから還付金を振り込みますので、「お振り込み」のボタンを押してください。

「お振り込み」のボタンは、相手にお金を振り込む手続きです。お金を受け取ることはできません。

(被害者) 「お振り込み」ですね。はい、押ししました…。

その後、犯人の言うとおりに操作し、最後の金額の入力画面で…

(詐欺犯人) それでは、最後にあなたの個人番号を入力します。「498765」と入力して、最後に「確認」を押してください。これで手続きは完了です。

犯人の言うとおりに操作してしまうと、自分の口座から犯人の口座にお金が振り込まれます。犯人の言う番号は振込の金額で、49万8,765円がだまし取られてしまいます。

ATMで還付金を受け取ることはできません。「ATMで保険料や医療費などを返金します」はすべて詐欺です。不審な電話があれば、家族や警察に相談しましょう!

それ、特殊詐欺です!

(詐欺犯人) もしも、△△警察署の◇◇です。実は詐欺グループの犯人を逮捕したのですが、あなたやご家族名義のキャッシュカードが不正に利用されているおそれがあることがわかりました。

「詐欺グループ逮捕」「不正に利用」等の言葉で不安をあおります。

(被害者) えっ! 本当ですか!? キャッシュカードはありますけど…。

(詐欺犯人) 不正に利用されないために、「保護申請」が必要となります。保護申請するため、これから金融庁の職員を自宅に向かわせるのでキャッシュカードを用意しておいてください。

「保護申請する」「向かわせる」等と言い、被害者を安心させます。

(被害者) わかりました。用意しておきます。

数分後…玄関にて

(詐欺犯人) 金融庁の□□です。キャッシュカードを保護しますので、この封筒の中にキャッシュカードと暗証番号を書いた紙を入れて下さい。封をするので、印鑑を押してください。

被害者が印鑑を取りに室内に戻った際にあらかじめ用意していた価値のないポイントカード等を入れた封筒とすり替えます。

(被害者) わかりました。印鑑を取ってきます。

(詐欺犯人) 印鑑を押してもらったので、キャッシュカードの保護ができました。〇日までは絶対に封筒を開けないでください。

犯行の発覚を遅らせ、確実に現金を引き出すために、「〇日まで封筒を開けないで」等と言います。

(被害者) ありがとうございます。わかりました。(大変な事に巻き込まれてしまったけど、キャッシュカードが入った封筒も手渡してもらったし、これで安心。後は〇日まで封筒を開けないでください。)

警察、金融機関がキャッシュカードを封筒に入れさせることはありません。キャッシュカードを求める電話はすべて詐欺です。また、万が一に備え、ATM引き出し限度額を引き上げておきましょう。

キャッシュカード詐欺盗